

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第105号 2021年11月5日

p13

決算審査特別委員会

奥山町政2期目最後の決算

わっさむ保育所
説明（17ページ）

p2 三笠山大学との懇談会

p4 こんなことが決まりました ～議員報酬、休業規定を明確に～

p6 一般質問 7議員が登壇

p16 総務福祉常任委員会・産業教育常任委員会所管事務調査報告

p18 町民インタビュー聞かせて 商工女性部 ～コロナ禍での効果的な対策を～

大学生と意見を交換

～三笠山大学と議会との懇談会～



7月28日に、公民館恵み野ホールにおいて、17名の参加を得て三笠山大学と町議会との懇談会を開催しました。

内容は、各委員会から議会活動の報告をさせていただき、その後参加された皆さんからご意見を伺いました。

議会からはこんな報告をしました

■総務福祉常任委員会

- 財産の管理状況について
- ごみ処理方法について

■議会広報委員会

- 議会動画配信の状況について

■議会活性化等特別委員会

- 委員会の審査経過について

■産業教育常任委員会

- 若草集会所の新築について
- 小中学校ICT授業について
- お買い物クーポン券発行事業について
- ふれあいのもりのキャンプ場について
- 南丘森林公園の貯水について

■医療及び福祉施設等調査特別委員会

- 無床診療所の審査経過について

意見交換

Q 芳生苑の建替えの現状は。

A 7、8年前から老朽化しており、修繕費で1千万円から2千万円程かかることから、移設して新しく建て替える方向で進んでいる。現在病院の経営も行っている法人に運営していたと話をしている。

Q コロナ禍のため話が進んでいないが、議会でも勉強して早急に判断していく。

Q 粗大ゴミの処理金額は、町で負担できないのか。

A ゴミ処理の費用は総額で5240万円、町民1人あたり約1万6千円で、10年前より49%ほど上がっている現状がある。上川管内4市19町村の内、粗大ごみ無料は現在和寒だけとなっている。

議会から三笠山大学生に聞いてみた

Q 議員定数と議員報酬についてどのようにお考えかお聞かせください。

A 議員定数は10人が最低の定数ではないか。報酬も管内では低い方なので、もう少し上げても良いかもしれない。

Q 人口減少問題などについてどのようにお考えかお聞かせください。

A 子どもが少なく、若い世帯の人口が非常に少ないと感じる。若い人が働ける場所があると良いと思う。

●紙面の都合により、内容の簡略化やすべたのご意見が掲載できておりませんのでご容赦願います。また、多くのご意見をいただきましたこと改めて感謝申し上げます。

参加者アンケート集計結果（抜粋）

●あなたの年代と性別は。

区分	男	女	未回答	合計	率
60代	1	1	0	2	11.7%
70代	3	5	0	8	47.1%
80代	7	0	0	7	41.2%
合計	11	6	0	17	100.0%

●本町議会議員の定数は現在10名ですが議員定数についてどう思いますか。

現状でよい	9	52.9%
削減すべき	7	41.2%
増やすべき	0	0.0%
わからない	1	5.9%
合計	17	100.0%

●どの位の報酬があれば、議員として活動したいと思いますか。

20万	3	17.6%
23万	2	11.8%
25万以上	1	5.9%
未回答	11	64.7%
合計	17	100.0%

●議員に期待する役割について、どのようにお考えですか。

住民の要望を把握し、町政に反映させる	10	43.5%
町政へのチェック機能を果たす	4	17.4%
住民に町政に関する情報を伝える	8	34.8%
その他	1	4.3%
未回答	0	0.0%
合計	23	100.0%

●このような懇談会を今後も行うべきと思いますか。

継続したほうが良い	16	94.1%
しなくても良い	1	5.9%
どちらでもよい	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	17	100.0%

●全国でも議員のなり手不足は大きな問題となっていますが、要因はなんだと思いますか。

報酬	5	20.8%
高齢化	4	16.7%
人口減	7	29.2%
個人への負担が多い	1	4.2%
議会に関心がない	7	29.1%
その他	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	24	100.0%

※複数回答

●町議会に対するご意見・ご要望など。

和寒町の活性化のための支援を拡大して欲しい。自治会懇談会を多く行い住民要望を町政に反映して欲しい。
結果報告だけにならないように。

（参加者17人中17人回答）

9月定例会

あらまし

9月定例会（第3回定例会）は、令和3年9月16日から17日にかけて開催され、人事案件や補正予算などを審議し、可決しました。

また、一般質問では7人の議員が登壇し、意見書3本を可決して閉会しました。なお、今定例会の傍聴者は延べ10人でした。

条例改正

〔和寒町議会会議条例及び議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について〕

議員が公務以外の疾病等の理由で議員活動を行えない場合、その期間に応じた議員報酬を減額する条例の一部改正を可決しました。

議員活動ができない期間	減額割合
90日を超え180日未満	100分の20
180日を超え365日未満	100分の30
365日以上	100分の50

▲議員報酬減額の割合

〔和寒町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について〕

一般廃棄物の収集、運搬及び処分に関し手数料を徴収する規定に、粗大ごみ処分手数料を追加する条例の一部改正を可決しました。

補正予算

〔和寒町一般会計補正予算〕

小学校の修学旅行のキャンセル代の負担や、リサイクルセンターのストックヤード・計量棟の設計委託など、総額で665万円の増額補正を可決しました。

〔和寒町国民健康保険特別会計補正予算〕

診療所副院長の退職に

主な質疑

問 10月末から集団検診が行われるという話だが、非常勤医師で行うのか。

答 集団検診については旭川医師会に委託をして行っている検診。今年から旭川がんセンターでも特定検診を受けられるようになり、選択肢を少しずつ増やしていく。

問 8月から来年度の3月まで出張医で賄う場合と、常勤医ではどのくらい給料の差があるのか。

答 当直が無いので、病院よりは低額に抑えられている。常勤医がいる場合と出張医で継続する場合で、人件費はほぼ変わらない。

専決処分

〔和寒町一般会計補正予算〕

プレミアム応援券発行事業実行委員会補助や、経営継続緊急支援事業交付金に関して、総額で5110万円の増額補正、



議場内の飛沫防止用パーテーションの購入で50万円の増額補正をそれぞれ承認しました。

主な質疑

問 経営継続緊急支援事業の実績、現状はどのような状況なのか。

答 9月17日現在で36件、合計820万円の支援金を支出している。

町内事業者が苦勞している状況に変わりなく、商工会との連携を密にしながら必要な対策を講じていく。



計画策定

〔和寒町過疎地域持続的発展市町村計画の策定について〕

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、和寒町過疎地域持続的発展市町村計画（R3～R7）の策定を可決しました。

主な質疑

問 過疎債の借り入れ額はどのように変更されるのか。

答 国の地方債計画に基づいて全体枠が決まっております、それが各都道府県に配分され、計画によって各市町村に配分される。

町村でいくらか決まっているわけでは無く、過去に公民館の改修などを行った際は大きく借り入れすることができた。

過疎債とは、過疎地域とされた市町村が計画に基づいて行う事業の財源として特別に発行が認められた地方自治体の借金のこと

人事

〔教育委員会教育長の任命〕

沓澤昭一氏（北町）を任命することに同意しました。

沓澤氏は平成26年から任命されており、今回で4期目になります。（任期3年）



▲沓澤昭一氏

〔教育委員会委員の任命〕

佐藤香苗氏（大成）を任命することに同意しました。（任期4年）

委員会付託



▲佐藤香苗氏

和寒町各会計歳入歳出、町立病院事業会計に係る決算、国民健康保険町立和寒病院事業会計の令和2年度未処理欠損金の処理について、決算審査特別委員会を設置し、付託のうえ閉会中に審査することとしました。

報告

〔令和2年度和寒町一般会計及び特別会計歳入歳出決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告〕

和寒町の財政状況は健全である旨の報告がありました。

意見書

〔コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書〕

〔国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書〕

〔コロナ禍における農畜産物の消費拡大及び高温・干ばつによる農作物被害対策を求める意見書〕

議員から、コロナ禍により厳しい地方財源の充実に、国土強靱化に資する社会資本の整備・管理、コロナ禍における農畜産物の消費拡大及び高温・干ばつによる農作物被害対策を要望する意見書3本が提出され、審議の結果、可決し、内閣総理大臣や関係行政庁に提出しました。

問 安心安全な教育環境を
答 協議の上、国に要望していく



小野田久美子議員



問 JR和寒駅のトイレ改修を
答 そう遠くない将来、議会に相談したい

安心安全な教育環境を

今年猛暑で、更に新型コロナウイルス感染症予防のため、児童生徒はマスク着用をしながら厳しい環境の中で授業を進めなければならなかった。

今後、小中学校に冷房設備を設置する考えは。

また、通学路の危険箇所を状況やその対応は。

杏澤教育長

冷房設置については今後の気象状況を念頭に、児童生徒が授業に支障をきたさないよう、夏季休暇期間などを含め検討していきたい。

6月の千葉県児童5人死傷事故を受け、改めて教育委員会職員が、通学路で危険と思われる箇所を点検をした。

教育委員会としては、関係機関、団体と連携を図り、危険箇所の改善策について協議の上、国に要望していく。

○再質問

国の交付金などを活用し、冷房設備を設置できないか。



▲砂川市内小中学校エアコン設置事業

杏澤教育長

今考えているのは、来年度本州のように夏休み30日間、冬休み20日間とし、同じように猛暑日が続くようであれば、その時点で設置を検討したい。

奥山町長

和寒町としても猛暑の環境は無視できない。

保育所には冷房を設置済だが、学校にはないので大きな課題だと受け止めている。財源の確保に苦労しているので、国へ働きかけていく必要があると考えている。

○再質問

通学路安全マップを、どのように対応しているのか。

教育推進課長

通学路安全マップは、各小中学校のPTAが把握していた危険箇所の地図情報を共同本部会議が取りまとめた。

昨年3月に全戸配布し、子ども見守り隊活動で活用し対応をしている。

○再質問

国道40号線と和寒駅前交差点は、以前何度か追突事故が発生しており、児童生徒や町民を守るために、防護柵を設置する必要があると思うが。

教育推進課長

関係機関に相談したい。

JR和寒駅のトイレ改修を

和寒駅は、多くの高校生が通学で、また通勤や通院、観光客等も利用されている。

この件については何度も各議員が質問しているが、町長の考えは。

奥山町長

平成29年度に、JR北海道に対し改修要望したが、行えないとの回答だった。

その後、JR北海道は国からの監督命令を受け、経営改善に向けた取り組みを進めるため、これ以上の協議は難しくなった。改修を実施する場合、北海道からの支援や有利な起債など適当な制度が見当たらず、町の一般財源からの持ち出しになる。

和寒駅の駅舎が昭和63年に建築されているので、そう遠くない将来、トイレを含む駅舎全体のあり方について議論が必要な時期に、議会に相談したい。



村岡敏一議員



問 高温、干ばつでの農業関連対策は 答 関係機関と連携し、対策を検討

問 本町の移住体験事業の実績は 答 まちの魅力を高めながら情報発信

高温、干ばつでの農業関連対策は

今後の収穫状況を鑑み、災害級といえる高温・干ばつによる農業への影響を踏まえ、何らかの対策を講ずる必要があると考えるが。

奥山町長

多くの農業者から、厳しい状況にあると伺っている。

セーフティネットもあるが、今後の収量や市場価格などの動向によっては、農業所得の増減に影響を及ぼすことが想定されるため、無利子や無担保等の資金融通策も含め関係機関と連携をし、対策を検討していく。

○再質問

灌水装置・資材への補助や開畑の灌漑（かんがい）施設、大区画整理を含めた灌漑整備に関するの考えは。

広富副町長

所有者の条件相違、地域の特色を踏まえたうえで、土地改良事業的なものが必要な

かなど、色々な方面から対策を考え研究を重ねていく。

奥山町長

大区画化については、道庁にお願いをして事業のメリットやデメリットをまとめてもらっており、農業者に正確な、また選択できる情報の提供をしていきしっかりサポートしながら取り組んでいく。

本町の移住体験事業の実績は

「ちよつと暮らし」事業の実績と、本町と上位の市町村との取り組みとはどこが違うのか。

奥山町長

令和元年度の利用は4組10名だったが、令和2年度の実績はなかった。

上位市町村との違いは、①受け入れ可能な施設が数多くあり、利用期間の上限を6か月または1年間としているため、地域で働きながら体験できる。

②交通アクセスが良く主たる

生活拠点との往来が容易である。

③近隣の市町村との取り組みや条件に差異があり優位性がある。

今後実績ある市町村の取り組みを参考に情報発信に努めていく。

○再質問

和寒の観光資源をどのように位置付けしていくのか。

奥山町長

本町や他町のイベントの人材確保の状況を考えると、お互いに助け合う環境を作らなければ、観光の目玉も守れなくなってくる現状が目の前にきているように感じる。

各自自治体の首長も協力体制が必要とされている。

和寒以北の玄関口として位置づけ、JRを使っていただく事も考慮しながら、上川北部に人が流れてくる導線が必要と考えている。

○再質問

夫婦岩・塩狩峠整備等に関しては町民には理解しがたい

のが現状と思うが。

奥山町長

平成15年当時の商工青年部の方々が限られた資源の中で、夫婦岩をどのように観光資源にしていくか、相当苦労されてやってきた経過があり、時の首長も継続してその在り方に対しての動きがあった。

夫婦岩に初めて登った方は石狩と天塩の分水嶺であることを意識されて、その素晴らしさを感じていただいたのが現状であるため、今後も町民へ丁寧に説明をしていく。



問 住み続けられる町とは
答 高齢者などへの食事支援から



谷口勝弘議員



問 和寒町観光ビジョンを
答 1市3町の議論で検討する

弁当宅配モデル事業

今年7月から9月末までの予定で、主に高齢者を対象にした弁当宅配モデル事業が行われている。

途中経過を伺う。

奥山町長

中間評価のために実施した利用者アンケートでは、彩りや栄養バランスに配慮された弁当が好評だった。

一方で協力業者は、受取確認や、安否確認に時間を要し、負担になっている。

町としては、検討チームの会議で事業内容を話し合い、進めていく。

○再質問

飲食店業者が安否確認を行うのはかなりの負担と考える。調理部分と、配達・安否確認を分けられないのか。

保健福祉課参事

その負担解消に向けて、飲食店には調理分担任していただき、配達・安否確認部分を社協にお願いをして、さらに

2ヶ月間、モデル事業を進めていきたいと考えている。

○再質問

乳酸菌飲料配達での安否確認がなくなると、安否確認が弱くなったような印象を受けるが。

保健福祉課参事

安否確認は、社協による電話や訪問、これまでの配達サービス、さらにデイサービスや訪問介護など、関係機関の協力を得ながら、様々な事業で、住み続け易い町を目指していこうと考えている。

○再質問

ボランティアで安否確認をすることは、今後難しくなってくると思うが、民間事業者が参入してきた場合、和寒町として支援する考えはあるか。

広富副町長

今のモデル事業も、町が2分の1負担している。調理と配達・安否確認ができる事業所が出てくるようなら、話し合いたいと考えている。



▲検証チーム会議

夫婦岩までの道路は

夫婦岩へ車で行けるような道路の新設を計画しているが、ゴミの有料化などの大規模な事業見直しが行われており、納得できない方もいると思う。町長の考える観光ビジョンを作成する必要があるのでは。

奥山町長

和寒町では、観光分野単独での計画は、策定していない状況にある。

今後、土別市・剣淵町・幌加内町との1市3町で、地域全体のビジョンを議論するなど、各市町村の観光資源を有効に活用できるよう、検討し

ていきたい。

○再質問

夫婦岩への道路と、JR和寒駅のトイレ、どちらが優先かも、観光計画が策定されていけば、理解されると思うが。

奥山町長

観光計画を作成している自治体は、国からの補助を必要とする時に作っている。

夫婦岩への道路で、どのような人呼び込み、どれくらいの人に来るのか、という想定はできない。

塩狩峠周辺整備で、計画書を作成した場合、国から財源が付くのか、国の財源が付く計画にするためには、どのようにしたらいいのか、という視線でも考えていきたい。



池澤哲也議員



問 有害鳥獣の対策は 答 農業被害の対策は今後も続ける

問 コロナ禍の児童・生徒への影響は 答 学力の低下はなく、健康安全に万全を期す

有害鳥獣の対策は

本年より中山間事業による電気柵設置への助成が廃止となり、農作物への被害拡大が懸念されるが、今後の対応は。また、猟友会によるシカの駆除頭数は200頭を超え、会員の負担も増加している。

捕獲農に監視センサーを組み入れたIoT機器を活用し、見回り負担の軽減や、システム化による、持続可能な捕獲体制の構築に向け、機器の導入を検討できないか伺う。

奥山町長

本町の対策としては、昨年度は216頭の捕獲を行っているが、捕獲頭数は毎年増え続けており、猟友会の対応だけでは厳しい現状にある。

電気柵設置への支援は、中山間事業において、平成17年度より実施してきたが、令和2年度に、国の会計検査での指摘により、運用が見直され、個人的経費への助成ができなくなった。

中山間和寒集落において議論を重ねた結果、今後の取組

は困難と判断し、やむなく廃止された。

このため、暗渠資材、基盤整備、共同防除など、共同取組活動の支援を拡充した。

これにより負担が軽減した部分を電気柵の財源にして、有効に事業を活用していただきたい。

また、IoT機器の活用については、センサーカメラを2台保有し、鳥獣の監視に活用している。

○再質問

国の鳥獣被害防止対策交付金は活用できないか。

また、町単独での支援は。

産業振興課長

鳥獣被害対策交付金事業は、要件として数戸の農地を一体的に囲み、電気柵は新設すること、農作物の被害額と設置後の被害軽減額の計算をして、基準をクリアする必要がある。

また、財産管理として設置前後の写真や、周辺の草刈り、見回りや撤去の時期など、管理台帳の整備を8年間は継続

しなければならぬ。監視センサー式農の導入は、猟友会の方の意見も聞きながら、検討したい。

奥山町長

農業被害の対策は、今後も続けていかなければならないと考えており、電気柵に対して、予算を配分できるかは、研究をしていきたい。



児童・生徒へのコロナ禍の影響は

昨年より続く新型コロナ感染症の感染拡大により、本町の小中学校でも昨年春の臨時休校や、学校行事の中止や規模縮小、その他様々な活動の制限があったが、子ども達の学力や体力の低下はあるのか、

また、精神面に与えている影響と対策について伺う。

杏澤教育長

学校は一貫して、新しい生活様式、衛生管理マニュアルの徹底を図ることが求められ、健康観察や手洗い、マスクの着用、換気の徹底、三密回避等実施している。

これまで教育活動に制限を受けているため、影響がないとは言えないが、先生や子ども達は様々な努力をしてきた。全国学力・学習状況調査の速報値において、本町の小学校では、国語は全国平均を超え、算数は全道平均とほぼ同値、中学校は国語、数学ともに全国平均を上回った。

体力については全国調査の速報値が出ていないため不明だが、学校からは体力低下の報告はない。

ストレス、いじめ、偏見等についても、相談窓口が周知されている。

今後とも学校と連携を図り、感染防止と児童生徒の健康安全に万全を期す。

問 公共施設に生理用品の設置を
答 学校への支援をしていく



下條美恵議員



問 小中学生の視力低下の現状は
答 目の健康について指導・啓発している

コロナ禍での社会問題

現在コロナ禍で経済的に困窮する人が急増したことを背景に、生理用品が買えない「生理の貧困」が社会問題になっている。

この問題に対し何らかの取り組みを実施または検討している地方公共団体は581団体（北海道8団体）である。

経済的に困窮している女性を支援するため、生理用品の無償配付や公共施設のトイレに生理用品を設置しては。

また政府は4月、子どもの貧困問題の対応の一環として、学校で生理用品を必要とする児童生徒への対応を進めることなどを「子ども・若者育成支援推進大綱」に掲げた。

本町でもトイレトイレットペーパー同様に学校トイレの個室に生理用品を設置しては。

奥山町長

生理用品の配付については、道内自治体の都市部において、小中学校などでの取り組みや防災備蓄の対象としている例が多く、本町としても災害時



▲生理用品をトイレで配布

の備蓄品として保有することを検討する。

公共施設のトイレの設置については、福祉の窓口で困窮者の実態やニーズの把握が難しいことや、仮に設置した場合、本来の目的である困窮者にいきわたらないことが想定される。

他の自治体の取組みを参考にしながら、必要に応じて学校での取り組みに対し支援を考えていく。

香澤教育長

現状は、小中学校とも生理用品については保健室に常備して、必要な児童生徒に対し個別に配付するなど対応して

いる。

ただ、生理の事を口に出せない、保健室まで取りに行けないなど困っている児童生徒への配慮も必要と考えている。

一方で、保健室に受け取りに来ることで子どもの健康状態を知ることができ。

今後、学校とも相談しながら実態を踏まえて対応していく。

小中学生の視力低下の現状は

GIGAスクール構想により、授業でタブレットを使う時間の増加が見込まれることから、文部科学省は小中学生の視力の実態調査を行った。

調査結果によると、裸眼視力1.0未満の割合は、小学1年生24.2%、小学6年生49.5%、中学3年生60.6%と学年ごとに増える傾向となった。

本町の現状と対策は。

香澤教育長

本町の小中学生の視力の現状は、小学1年生15%、小学



▲タブレットを活用した授業

2年生0%、小学3年生23%、小学4年生33%、小学5年生54%、小学6年生39%、中学1年生30%、中学2年生18%、中学3年生38%となっている。

昨年度から小中学校のICT担当職員と教育委員会職員で組織した「ICT担当者会議」で、教育委員会が作成した「タブレット活用ルール」の中に、目の健康のためにという項目を設定し、姿勢、距離、使用し続ける時間、目を休める工夫、就寝前の使い方などについて記載し、子どもへの目の健康に配慮するよう指導・啓発に取り組んでいる。

石田利美議員



問 「みどりの食料システム戦略」の考え方は 答 農業者や関係団体と連携して取り組んでいく

問 和寒町の干ばつの農業支援は 答 今後の動向などを注視して対策を検討

みどりの食料システム戦略は

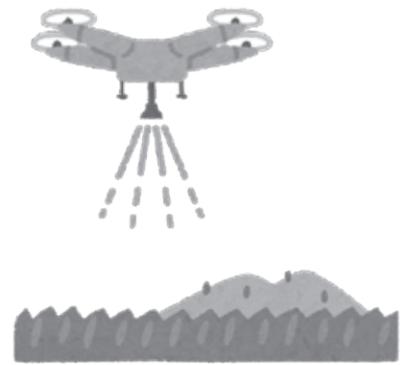
農水省で今年5月、2050年までの政策方針「みどりの食料システム戦略」を制定した。

有機農業の拡大など農業生産分野の目標が注目され生産に必要な資材やエネルギーの調達、加工、流通、消費に至る食料システム全体を、将来にわたって持続可能なものにするのが狙いだと考える。

「みどりの食料システム戦略」は、農業が基幹産業の本町では大きな転換期ではないかと思うが、これからの進め方を伺う。

奥山町長

本年5月に農林水産省が発表した「みどりの食料システム戦略」は、持続的な食料システムの構築の必要性、地球環境問題やSDGsへの対応などを背景に、資材やエネルギー調達における脱輸入・脱炭素・環境負担軽減の推進、環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進などに



取り組む長期的なビジョンとして位置付けている。

スマート農業技術やペレット堆肥の活用技術の開発・実証試験が進められ、環境保全型農業直接支払交付金における化学農薬・化学肥料の軽減や、持続的経営体支援交付金を新設し、グリーン化優先枠が創設され、持続的農業に必要な農業用機械等の支援を検討している。

水田活用直接支払交付金の産地交付金において地力増進作物が追加され、有機栽培や高収益作物等の転換に向けた土づくりの取組への支援が検討されるなど、「みどり戦略」に関する各種制度の見直しが行われる見込みである。

本町では、中山間事業で廃プラスチックの適正処理費用の負担軽減対策や、令和3年度より対象作物を拡大して実施するヘリ・ドローンの共同防除による農作業の省力化や、農薬の適正使用に対する助成を実施していく。

またクリーンで安心安全な農業を、農業者や関係団体と連携して取り組んでいく。

干ばつ被害の農業支援は

今年の夏は、記録的な高温・少雨となった影響で、特産品のカボチャ・キャベツから畑作物全般の収量減や品質低下になっており、今後、農家の減収減益になると考える。

肥料・種子代などの補助を検討し実施すべきと思うが、町長の考えは。

奥山町長

今年7月から8月にかけての高温・干ばつの影響により農作物被害は「災害級」と言われており、9月1日現在の農作物の生育状況では、水稲は平年並みかそれ以上の収量

が期待されるが、カボチャをはじめとする畑作物は総じて高温・干ばつの影響により収量減が懸念され令和3年の農業所得の減少を心配している。国の米・畑作物の収入減少影響緩和交付金、自然災害による収量減少や価格低下、農業者の努力で避けられない収入減少を補償する収入保険制度・農業共済金があるが、農業所得に影響を及ぼすと懸念される。

町としては、今後の収量や市場単価等の動向などを注視し必要な対策を検討していく。



問 除雪の在り方は

答 公営住宅の除雪は他の業者で対応



窪田裕二議員



問 奥山町長の3期目の考えは

答 和寒町を前に進めるためにも3期目に挑戦！

除雪の在り方は

ここ数年、異常気象により、各地で影響が出ている中、本町も昨年は例年以上の大雪に見舞われ、町民も大変苦勞された。

その様な中、公営住宅や個人宅など担当していた業者が撤退することになり、町民も大変心配されている。業者撤退による現状と課題を伺う。

奥山町長

町内の現状については、住宅店舗など13業者が依頼を受けており、その中の1社が撤退された。

また、公営住宅除雪の際、通路除雪のクレーンなど、問題解決がされてこなかったことが大きな要因だと伺っている。

公営住宅の通路については、緊急車両・ガス・灯油や生活物資の搬入など生活通路であることから、個人で除雪をされている方に対し、生活通路確保に理解していただけるよう働きかける。

また、撤退を受け公営住宅22棟84戸の除雪を他の業者で対応できるよう、調整を進めている。

○再質問

今後も、経費高騰や人手不足などで業者が撤退することは懸念する。今後のためにも除雪組合を作っては。

奥山町長

業者間のメリット・デメリットも踏まえ研究する必要がある。

また、災害時での大雪の際は、業者間のマンパワーが必要となることから、その際など、組合といったことも勉強して考えていく。



奥山町長の3期目の考えは

1期目「ふるさと和寒町を元気に」、2期目「協働のまち、未来につながる和寒町」を掲げ8年間、厳しい町政運営に尽力を注いできたと考えます。

特に2期目は、町立病院を無床化に移行し、大きく舵取りを行ってきた。

そこで8年間を振り返り、どの様に分析しているか伺う。また、3期目出馬の考えを伺う。

奥山町長

1期目「安心して暮らすことのできるまちづくり」「産業育成による活力あるまちづくり」「人が輝くまちづくり」を重点目標として、「地方創生総合戦略」や第5・6次「和寒町総合計画」に沿って進めてきた。

その取り組みとして、「お出かけハイヤー」「マイホーム応援事業」「なごやかサロン事業」「夫婦岩周辺整備」などを行い、2期目「協働のまち、未来につながる和寒町」をキャッチフレーズに使用

料・手数料・水道料など、事業の見直しを行ってきた。

また、本年4月には、議会や町民の理解と協力によって、町立病院を無床診療所とさせていいただいた。

8年を分析すると、1期目は新たな事業を創設して、まちづくりを進める「攻めの4年間」、2期目は、和寒町を持続可能な自治体にしていくための「守りの4年間」であった。

特に、病院の無床化では、病院長の理解と協力、そして、担当職員の粘り強い頑張りがあった。

これからは、芳生苑の建て替えやゴミの有料化など問題が山積している状態にある。

今後は、安定した行政サービスを行うため、持続性のある行政運営を図る必要性を念頭に入れ、今度は町を前に進め、和寒町の魅力を高めることを目指して3期目に挑戦したいと考える。



魅力あるまちづくりを

令和2年度の一般会計、5特別会計、病院事業会計の決算は、令和3年10月13日～15日の3日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く8名で構成された決算審査特別委員会（下條美恵委員長・中原浩一副委員長）で慎重に審議されました。

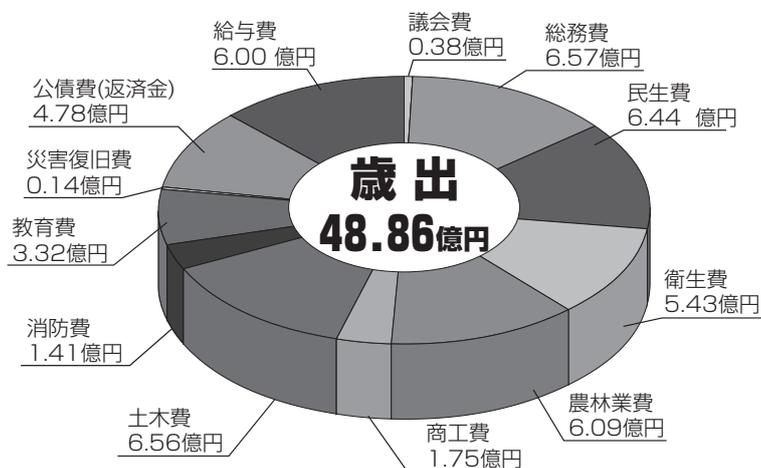
町民の生活に直接関係する事業の決算だけに、委員各位から活発な質疑があり、会計ごとに討論を行い、採決の結果、各会計とも賛成多数で認定すべきものと決定しました。

令和2年度 各会計決算状況 ※1万円未満切り捨て表記

会計別	予算額	収入額	支出額	差引残額	
一般会計	52億2481万円	49億7806万円	48億8629万円	9177万円	
国民健康保険特別会計	5億4091万円	5億2546万円	5億1892万円	654万円	
簡易水道事業特別会計	1億5646万円	1億5670万円	1億5369万円	301万円	
公共下水道事業特別会計	1億8633万円	1億8660万円	1億8328万円	331万円	
後期高齢者医療特別会計	7078万円	7084万円	7055万円	29万円	
介護保険特別会計	保険事業勘定	6億693万円	6億2174万円	5億9405万円	2768万円
	介護サービス事業勘定	9918万円	9904万円	9886万円	17万円
合計	68億8543万円	66億3847万円	65億566万円	1億3281万円	
町立和寒病院事業会計	収益的収入	3億9970万円	収益的支出	4億1634万円	
	資本的収入	1349万円	資本的支出	1669万円	

一般会計

町民1人あたり約153万円



議会費	1万1869円	0.77%
総務費	20万6494円	13.44%
民生費	20万2616円	13.19%
衛生費	17万0796円	11.12%
農林業費	19万1370円	12.45%
商工費	5万5015円	3.58%
土木費	20万6397円	13.43%
消防費	4万4329円	2.88%
教育費	10万4489円	7.12%
災害復旧費	4342円	0.28%
公債費	15万0221円	9.78%
諸支出金	0円	0.00%
給与費	18万8630円	12.28%

2期目最後の決算

～コロナ対策追加～

臨時交付金の使い道は

ゴミステーション 施設整備事業補助

Q ゴミ飛散防止のための対策だが、効果は。

A カラスにゴミを荒らされる件数はかなり減った。

Q 分別できていないゴミは収集せずに、注意シールを貼る自治体などもあるが、今後有料化に向けてどのように対応するのか。

A 収集者が対応しきれず、今は行っていない。有料化に向けて検討を進めていく。



自治会活動推進交付金

Q コロナ禍で自治会行事の中止が続いているが、対応は。

A 事業を行わないからといって交付金を減らすということはない。活動について相談してもらえばサポートしていく。

防災対策

Q コロナ禍による防災関係は。

A 避難行動要支援者名簿については、自治会独自で進めているところもある。他の自治会にも話していく。コロナ禍での避難計画なども自治会と連携していく。

ふるさとギフト

Q 和寒ふるさとギフト返礼品のランキングは。

A 1位はジンギスカン、2位は塩狩サフォーク、3位はさとうさんちのシユガーメロン、4位はわつさむ産メロン、5位はさとうさんちの越冬キャベツとなっている。611名にリピートしていただいた。

Q ふるさと納税を取り扱うサイトごとの件数は。

A 左表の通りとなっている。

楽天	1448 件
ふるなび	636 件
さとふる	347 件
ふるさとチョイス	832 件
その他	533 件

保育所の人員

Q コロナ禍で業務が増えていると思うが、保育所の人員は足りているのか。

A 正職員8名、任用職員12名で、基準より多い人員となっている。また、コロナ禍での消毒作業のために動員したことはあったが、おもちゃ除菌・消毒庫を購入してからは対応できるようになった。

土壌診断

Q 農業活性化センターで行う土壌診断は令和2年9月から有料化したが、影響は。

A 件数は例年の3分の2程度になった。一度に全面積を行うわけではないので、統計を取るには時間を要する。

令和2年度 決算審査特別委員会

奥山町政

3回目のワクチン接種は

コロナワクチン

Q 国から追加接種の方針が出されたが、対応は。

A ブースター接種の準備を始めている。国からの説明会なども行われており、昨年同様10割補助で行われる予定。



農業生活体験実習生

Q 和寒町で農業をやりたい意欲があっても、受け皿が無い。事業の在り方を再検討すべきだと考えるが。

A 農業生活体験実習もニーズが少しずつ変わってきている。現場や農業委員会の意見を聞き、課題をあげて検討していく。

Q 西町児童公園の公衆トイレだが、男性用に和式しかない。改修することはできないのか。

公衆トイレ改修

A 今年の町政懇談会でも同様の意見があった。改修のコストなどを算出し、検討する。

公営住宅

Q 公営住宅やジユネスハウスの空き戸数は。また、今後の公営住宅計画の在り方は。

A 公営住宅は22戸、単

身者住宅（ジユネスハウス）は12戸空いている。長寿命化計画に基づき、中間見直しを行っている。若草団地については個々の住民に意見を伺い、検討をしている。

Q 補助の継続を不安に思っている保護者が多い。給食費の補助も併せて継続してほしい。

高校生徒通学費補助

A 道からの補助が無くなった後も和寒町独自で続けてきた補助なので、当面の間続けていく考え。

歳入

住宅使用料

Q 地域住宅使用料の件数は。また、売却は考えていないのか。

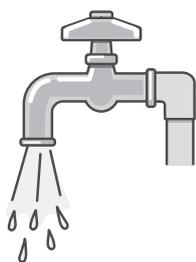
A 人口減・世帯減の中で色々なタイミングで見直しは必要となる。農業用水も含めて、各団体とも協議して今後努力していく。

郊外地の旧教員住宅で16件ある。以前行政改革を行った際に売却した住宅もある。相手方と協議し、買ってもらえる方がいれば売却する。

Q 令和2年6月に値上げを行ったが、コロナ禍での影響もあり営業用の水道使用量を減免している自治体も多い。今後減免の考えは。

給水使用料

A 人口減・世帯減の中で色々なタイミングで見直しは必要となる。農業用水も含めて、各団体とも協議して今後努力していく。





▲鷹栖町リサイクルセンター

総務福祉常任委員会

6月定例会において粗大ごみの有料化に伴う条例改正を行うべく提案を受けましたが、料金設定の根拠、従量制で良いのかなど議論をし尽くしたとは言えず、シール制で行っている自治体の状況も調査が必要と思いついて、7月29日愛別町と鷹栖町に視察研修を行いました。町民に理解いただく上で料金設定の根拠を明確に示すことが重要と考え、受益者負担の考え方を伺ったところ、愛別町外3町塵芥処理組合の収集料金に対する町民負担率は16.1%から

18.5%で、施設全体の総経費に対しては2.8%、鷹栖町は愛別町への委託費用に対し受益者負担率50%が妥当との考えだが、激変緩和を考慮して30%でスタートしたとのことでした。受益者負担を考慮するとき、その負担を求める対象経費についても明確にする必要があると感じました。

8月5日、視察研修した内容を整理し、受益者の負担率、従量制とシール制のメリット、デメリットの比較、近隣市町村の料金を比較検討し、その結果を行政に提案しました。

その結果、提案通り粗大ごみについては従量制とし、収集・仕分け・焼却処理経費合計が10kg470円と試算され、町民負担率を50%程度とし、直接搬入は10kg200円、戸別収集は10kg300円としました。

更に、粗大ごみの有料化は令和4年10月からであり概ね1年の猶予があるので、激変緩和は考慮しないこととしました。

今後は、ストックヤード(ごみの保管倉庫)の建設や燃えるごみと燃やせないごみの有料化について議論していきます。

産業教育常任委員会

産業教育常任委員会では9月21日、和寒小学校・中学校のPTAの役員の方々と「未来を拓くこどもたちのための意見交換会」を開きました。

これは、次世代を担う団体の代表や町民と意見交換を行い、町政に反映させることで、議会に興味を持ってもらい、まちづくりや議会の活性化につなげることを目的にしています。

参加者は、小・中PTA役員10名、産業教育委員会からは6名でした。



▲未来を拓くこどもたちのための意見交換会

テーマを①食・②教育・③生活・④その他行政への要望に絞り、事前にアンケートをいただき、ディスカッション方式で進行してまいりました。

食については、和寒町内での給食センターの開設をテーマに、現在の結果になった経過や、今の給食の味やメニューのことなどを話しあいました。

教育については、学校のエアコン設置や、ICTは足がかりであり、その先の目標が重要な意見をつかいました。

生活については、子供たちが、体を動かして遊べる公園を増やしてほしいという意見がありました。

その他については、医療費助成を18歳までにすることや、スキー場やプールなどにデマンドバスを運行すること、ヘルメット着用の義務化などのほかに高校通学費助成の継続を望む声がありました。

産業教育常任委員会は、これからも、様々な団体や町民から声をいただき、町政に反映させ、暮らしやすい和寒町を目指し、福祉向上に努めてまいります。



10月15日開催
第3回町議会
臨時議会

表彰

- 功労章
- 今野 政志様 (川西)
- 浜田 友子様 (西町)
- 功労表彰
- 土井 一光様 (西町)
- 山住トシ子様 (三笠)
- 金谷 浩幸様 (中和)
- 善行表彰
- 塚崎 正様 (西町)

補正予算

【インフルエンザ予防接種助成】
昨年に引き続き、65歳以上や高校生以下の方に加え、妊婦の方も対象にインフルエンザ予防接種の助成を行う補正予算を可決しました。

主な質疑

問 何回分のワクチンを確保しているのか。

答 10月現在で1096回分確保している。

更に追加で要請している。

10月18・19日に行った議会報告会については、次号に掲載致します。

閲覧統計

令和3年6月定例会一般質問4名
・総再生回数 142回
・総再生時間 18.1時間



町民に開かれた議会を目指し、議会からの情報発信、情報公開等を積極的に行うため、一般質問の動画を配信しています。和寒町議会ホームページから閲覧することができます

<https://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>
お問合せ：gikai@town.wassamu.lg.jp

表紙の説明

「和寒町保育所 給食前の手洗い」

今回の表紙は、10月4日に和寒町保育所で幼児が給食前に手洗いをしていた様子です。

幼児は、クラスごとに並んで液体せっけんを使い、ゴシゴシ手洗いをしていました。

その後、給食の間ですが残さず、しっかりと食べる子どもが多いようです。

今年、保育所と子育て支援センターには、新型コロナウイルス感染症対応時交付金で購入された、おもちゃ除菌・消毒庫が導入され、職員の作業がかなり軽減されたとの話でした。





和寒町商工会女性部の真鍋文子会長、小林めぐみ副会長、藤田幹子理事にCafeにの木の木にてお話しを聞かせていただきました。



▲左から、理事 藤田幹子さん、部長 真鍋文子さん、副部長 小林めぐみさん

◆商工会女性部の設立と部員数は？

昭和49年設立で、今年で47年目になります。現在部員は50名です。

◆女性部の活動内容は？

夜桜まつりの協力や、盆踊りの参加、どんとこい！わっさお夏まつりと極寒フェスティバルでの出店をしています。

餅まき用のもちや、女性部員は基より、親会、青年部の有志が協力して作っています。

作業の途中休憩には、みんなであんこが入ったつきたての大きな餅と、手作りの漬物を美味しくいただきます。

また和寒駅と駅前交差点へのフラワーポット設置や各研修会、交流会に参加しています。

令和元年から、JR和寒駅で観光列車のおもてなしを実施しています。その後コロナ禍により、2年連続運行が中止になりました。

来年は、観光列車が来てほしいですね。

◆今後の課題は？

今は、年配部員の経験と気力で、おまつりの協力ができている状況ですが、コロナ禍で中止になり、再開した場合にできるか心配です。

少子高齢化や経済衰退により事業所が減ってきているので、今後も継続させるために、部員の世代交代をどうしていくのかも課題です。



▲フラワーポット植込み作業

◆町への要望は？

コロナ禍により和寒町の経済に影響が出ているので、効果的な対策をしていただきたいです。

現地に行つて店舗や商品の陳列などを見たり、触れるなど体験することでいろいろな勉強になります。

商工業者の立場になつて、バスを借りやすくしていただきたいです。



▲平成30年 大通りにぎわい祭り参加

広報委員の一言

8月の記録的な猛暑も、つそのように冷え込む季節となりまして。

新型コロナウイルス第5波も収束に向かい、緊急事態宣言も解除され、ほっとしている方も多いと思います。

宣言解除で、大きな影響を受けていた町内の飲食店でも、にぎわいを取り戻しつつあり、少しずつ日常が戻って来たことを感じています。

コロナ禍以前の日常は、どんな生活だった？と考えたとき、私自身病気やウイルスについて、いかに無知で無防備な生活を送っていたのかと感づいています。

長いコロナ禍で、今の生活スタイルが日常になりつつありますが、これを受け入れ、快適で安全な新しい日常をつくり上げ、今まで以上に、「元氣なわっさお」になればと思うところです。(哲也)